



かごしま 子育て応援企業を 紹介します♪



登 録 番 号	770
登 録 日	令和3年12月1日

名 称	株式会社スズキ自販鹿児島
代表者職名・氏名	代表取締役 椎葉 正博
所 在 地	〒890-0072 鹿児島市新栄町14番14号
電 話	099-253-2525
ホームページ・アドレス	https://www.suzuki.co.jp/dealer/sj-kagoshima/
業 種	卸売・小売業
業 務 概 要	自動車販売修理業
行 動 計 画 期 間	令和7年4月1日 ～ 令和12年3月31日
行 動 計 画 の 主 な 内 容 知	目標1) 女性社員の勤続年数は、現在11年8ヶ月である。現状の採用人数(3名)を毎年維持し、離職率を下げていく(4%→3.6%)ことで、勤続年数を14年1ヶ月に伸ばすことを目標とする。 〈取り組み内容〉 令和7年4月～令和10年3月 ① 育児・介護をしながら働きやすいよう、看護休暇および介護休暇・生理休暇・不妊治療のための休暇を社員へ再度案内すると共に、両立支援制度の周知・理解のため部門長等へ研修を実施し、さらなる利用拡充を図る。 ② 育児・介護休業から復職した社員に相談窓口を改めて案内し、復職後の状況確認と不安点や仕事への思いを確認し長く仕事を続けられるようフォローしていく。 ③ マタハラ・セクハラを発生させないための研修等を実施することで、防止に向けた意識が社員へ浸透してきているが、今後も防止対策の研修等を1年に1回継続して行う。 上記取り組みを行い、最初の3年間で、女性社員の勤続年数平均13年7ヶ月を目指す。 令和10年4月～令和12年3月 3年取り組んだ結果を、令和10年3月に検証し、目標の13年7ヶ月に達していない場合は、原因を分析し改善策を検討する。必要に応じて、研修等を実施し、最終目標の14年1ヶ月を目指す。 目標2) 男性社員の育児休業取得平均30日以上を目指す。 〈取り組み内容〉 令和7年4月～令和9年3月 ① 所属長との取得意向確認面談の前に、男性利用対象者へ1歳になるまでの間で最大4回に分割して柔軟な休業を取得できることや、金銭面の説明を都度行っていく。

	② 社内イントラへ男性向けパンフレット「育休のすすめ」を掲示し、社内に案内する。 ③ 男性社員が取得しやすい職場環境にするため、部門長へ制度の研修会を実施し、制度利用の理解を深めてもらう。 上記取り組みを行い、最初の2年間で、男性平均育児休業取得20日を目指す。 令和9年4月～令和12年3月 2年取り組んだ結果を、令和9年3月に検証し、目標の20日に達していない場合は、原因を分析し改善策を検討する。必要に応じて、研修等を実施し、最終目標の平均取得30日以上を目指す。
こんな両立支援に取り組んでいます	■有給取得促進（年間12日以上） ■毎月1回NO残業デーの実施 ■両立支援ハンドブックの配布 ■出生時育児休暇（5日） ■育児短時間勤務制度（子が小学校3年生まで） ■看護休暇（1人：1年に5日まで・2人以上：1年10日まで）